

社会実験アンケート調査結果について

調査（設置期間）日：平成17年9月12日（月）～22日（水）11日間 配布枚数・回収率：83通／300通 27.67% ハンプ設置箇所 24通／100通 狭さく設置箇所 59通／200通

ハンプの設置状況

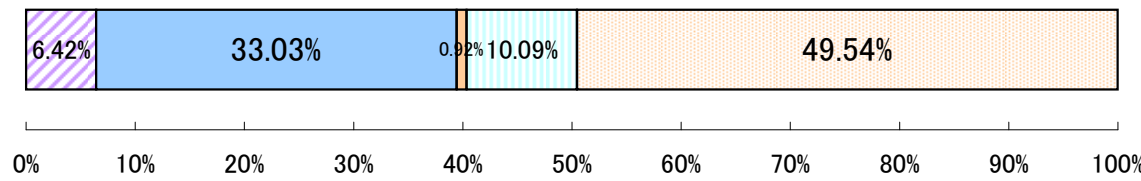


狭さくの設置状況



体験方法は何ですか？

未記入 自動車 二輪車 自転車 徒歩

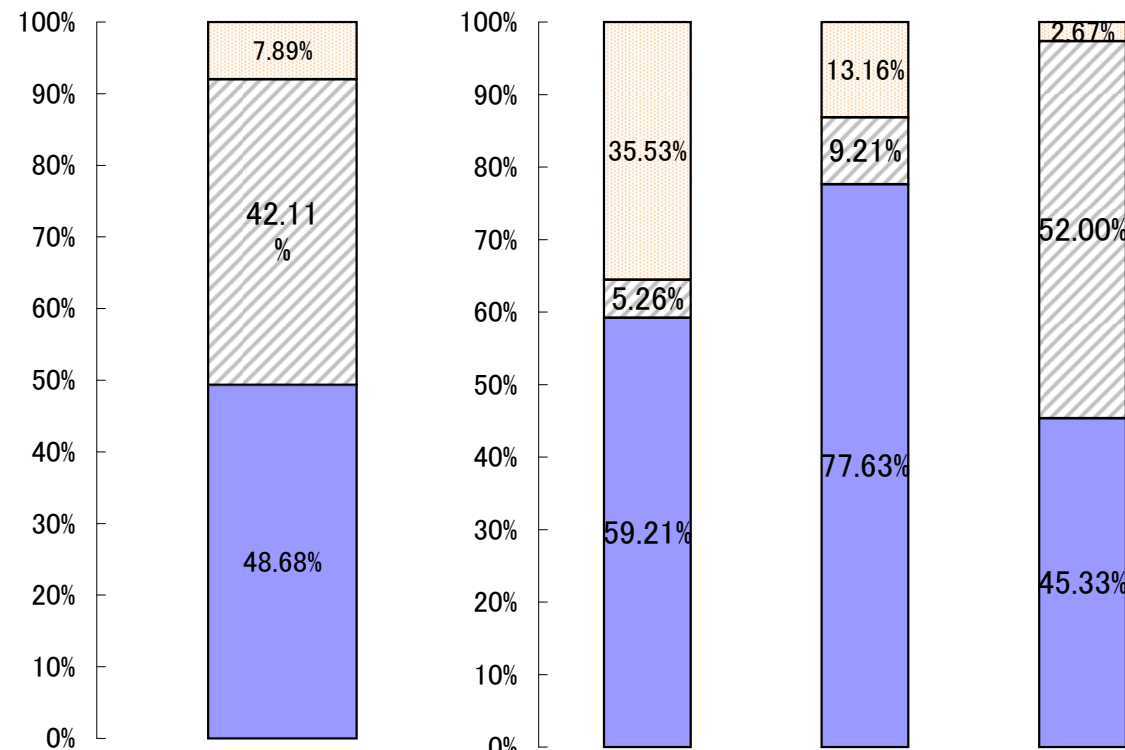


車を運転又は歩行してみてもどのよう
に感じましたか？

速度を落と
しましたか？

車の速度を落
すのに有効だ
と思いますか？

この道にハンプ
は必要だと思
いますか？



□ 運転又は歩行が困難である
□ 運転又は歩行しにくい
■ 気にならない

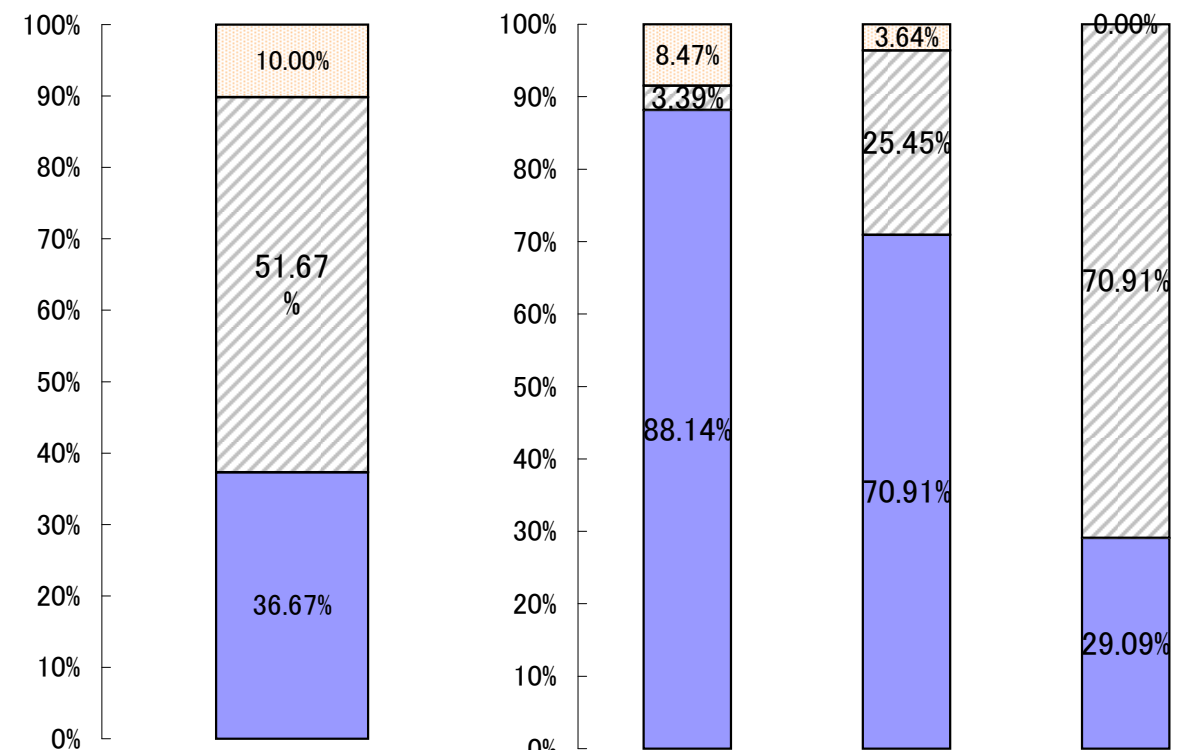
■ はい □ いいえ □ 未記入

車を運転又は歩行してみてもどのよ
うに感じましたか？

速度を落と
しましたか？

車の速度を落
すのに有効だ
と思いますか？

この道に狭さく
は必要だと思
いますか？



□ 運転又は歩行が困難である
□ 運転又は歩行しにくい
■ 気にならない

■ はい □ いいえ □ 未記入

- 体験方法の種類は、「徒歩」での体験が一番多く、(約50%)について自動車による体験(約33%)が多かった。
- 両施設とも体験者の約50%が「運転又は歩行しにくい」と回答。また、速度抑制は①ハンプ・約60%、②狭さく・約90%が「効果あり」で回答している。
- 施設の有効性は①ハンプ・約80%、②狭さく・約70%が「効果あり」で回答。一方、設置の必要性は①ハンプ・約50%、②狭さく約70%が「必要なし」で回答している。これは、速度抑制効果は認めながらも、実際に設置されると通行がしにくくなることから、心理的にこのような回答結果になったと思われる。